

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組・ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（「高等学校 精選言語文化」（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】習得した知識や技能を社会や他の技能と結びつける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や意図に応じて情報を集め、正確に相手に伝えたり理解を得られるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】相手の立場に立ち、課題を理解し、主体的に対話的な活動を通して解決策を考える。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材…児のそら寝 等 ・一人 1 台端末の活用 等	○		○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○		○	6
羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとする。	・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材…羅生門（芥川龍之介）（「現代の国語」を使用） ・一人 1 台端末の活用 等		○	○	【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	○		○	7
定期考査						○	○		1
1 学 期 絵仏師良秀 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 ・教材…絵仏師良秀 等 ・一人 1 台端末の活用 等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○		○	6

夢十夜（夏目漱石）	・指導事項…「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・教材…夢十夜（夏目漱石）（「現代の国語」を使用） ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとする。	○				7
なよ竹のかぐや姫	・指導事項 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…なよ竹のかぐや姫 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	○		○		5
定期考査						○	○			1
鏡（村上春樹）	・指導事項…恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 ・教材…鏡（村上春樹）（「現代の国語」を使用） ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。	○		○	○	5
漁父之利 狐借虎威 蛇足	・指導事項 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材 漁父之利 狐借虎威、蛇足 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○		○	○	6

2 学 期	定期考査						○	○		1
	奥の細道 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、俳諧が現代まで継承されていることを把握する。 ・俳諧という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・俳諧紀行文に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。	・指導事項 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、俳諧紀行文が現代まで継承されていることを知る。 ・俳諧という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 ・教材…奥の細道 ・一人1台端末の活用 等	○	○				6		
	唐詩の世界 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材 唐詩の世界 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		5		

[illegible]